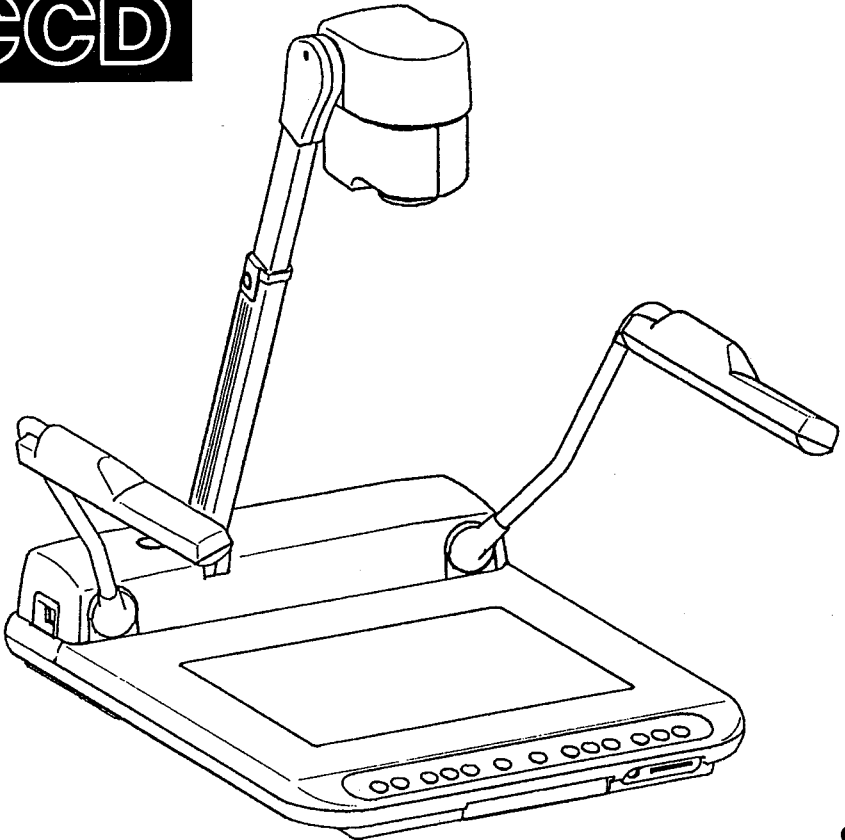


ビジュアルプレゼンター

EV-500AF

取扱説明書

CCD



はじめに

このたびは、弊社製品ビジュアルプレゼンター EV-500AF をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機はあらゆる資料をモニターテレビ画面に提示できる、簡単操作、軽量の資料提示装置です。

また高精度オートフォーカスシステム搭載の10倍ズームレンズにより、B4横（相当）から切手サイズの資料まで簡易に資料提示が可能です。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

お読みになった後、この取扱説明書は『保証書』と共に大切に保管してください。

使用上のご注意

安全にお使いいただくために、この「使用上のご注意」をよくお読みいただき次のことがらを必ず守りください。

■本機は日本国内用に作られたものです。必ず AC100V、50Hz/60Hz でお使いください。

電源およびテレビ信号規格の異なる外国ではご使用になれません。

■本機の分解、改造、修理等はおこなわないでください。

本機内部に触れることは危険なうえ故障の原因となります。

内部の点検や調整は、お買い上げのお店か最寄りの弊社営業所にご相談ください。

■ぬれた手で使用しないでください。感電する恐れがあります。

■本機の内部に水や金属等異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。

■電源コードの上に重いものをのせないでください。コードに傷がついて感電、火災等の原因となります。また、電源コードが熱器具に触れないようご注意ください。

■長時間にわたってご使用にならないとき、あるいは使用中に雷が鳴り始めたときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。

■変な音、におい、けむり等が出るなどの異常が起きた状態のまま使用すると危険です。すぐに電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。

お買い上げのお店か最寄りの弊社営業所にご連絡ください。

■電源プラグを抜くときは、コードを引っぱらずに必ずプラグ部を持って抜いてください。

■保管にあたっては直射日光のあたる所、暖房器具の近くに放置しないでください。

変色、変形、故障の原因となることがあります。

■湿気やほこりの多い場所、潮風の当たる場所、振動の多い所には置かないでください。使用上の環境条件は次のとおりです。

温度：5℃～40℃ 湿度：30%～85%以下（結露しないこと）

■傾いた所や不安定な台には置かないでください。

■ステージ面に水の入った容器や重量物を置いたり、落としたり衝撃等を加えないでください。

■本機の清掃は、乾いたやわらかい布で拭いてください。

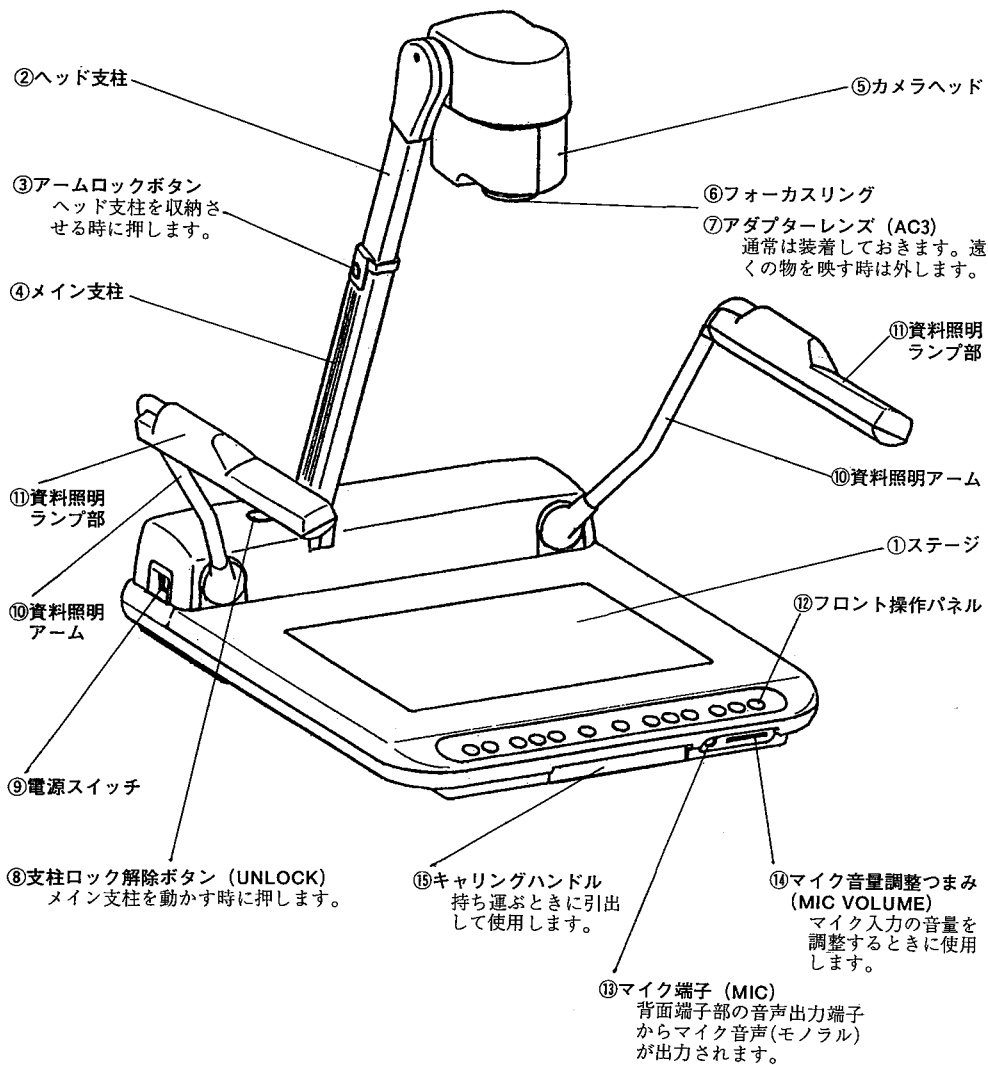
シンナーやベンジンなど揮発性のものを使用しないでください。

■カメラレンズを直接太陽に向けしないでください。撮影不能になることがあります。

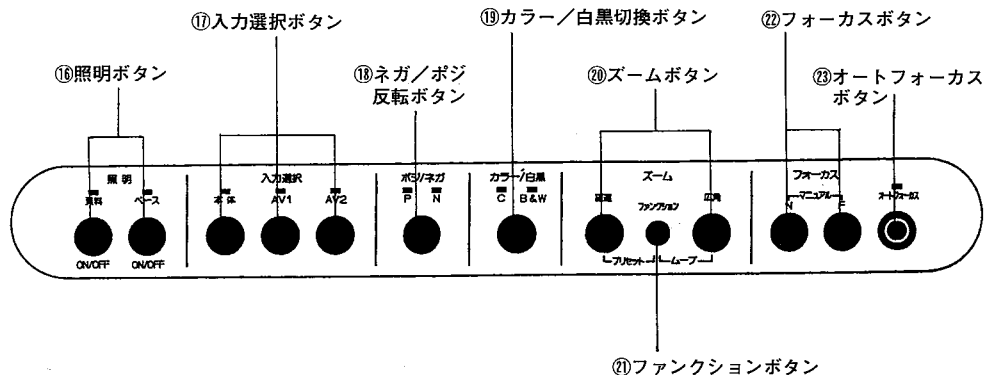
も く じ

| | |
|---------------------------------|----|
| 各部の名称 | 3 |
| 本体のセットアップ | 7 |
| モニターテレビとの接続 | 8 |
| ・コンポジットビデオ（Cビデオ）入力端子を持つ機器との接続 | |
| ・S映像（Sビデオ）入力端子を持つ機器との接続 | |
| ・RGB入力端子を持つ機器との接続 | |
| 資料提示の操作手順 | 9 |
| ・印刷物などの資料を提示する場合の簡単な操作手順 | |
| ・スライドフィルムなどの透過資料を提示する場合の簡単な操作手順 | |
| ・手前側を撮影するとき | |
| ・カメラとして使用するとき | |
| 収納 | 10 |
| 各種機能について | 11 |
| ・照明 | |
| ・入力選択 | |
| ・ネガ／ポジ反転 | |
| ・カラー／白黒切換 | |
| ・ズーム | |
| ・映像サイズプリセット | |
| ・フォーカス | |
| ・ホワイトバランス | |
| ・輪郭強調機能（ディテール調整） | |
| ・シャッター切換スイッチ | |
| ・アイリス | |
| ・マイク入力 | |
| ・LCDモニターシュー取付について | |
| システム展開 | 17 |
| ・外部同期の調整 | |
| ・リモート端子について | |
| 照明ランプ（蛍光ランプ）について | 19 |
| 故障かな？と思ったら | 20 |
| 仕様 | 21 |

各部の名称

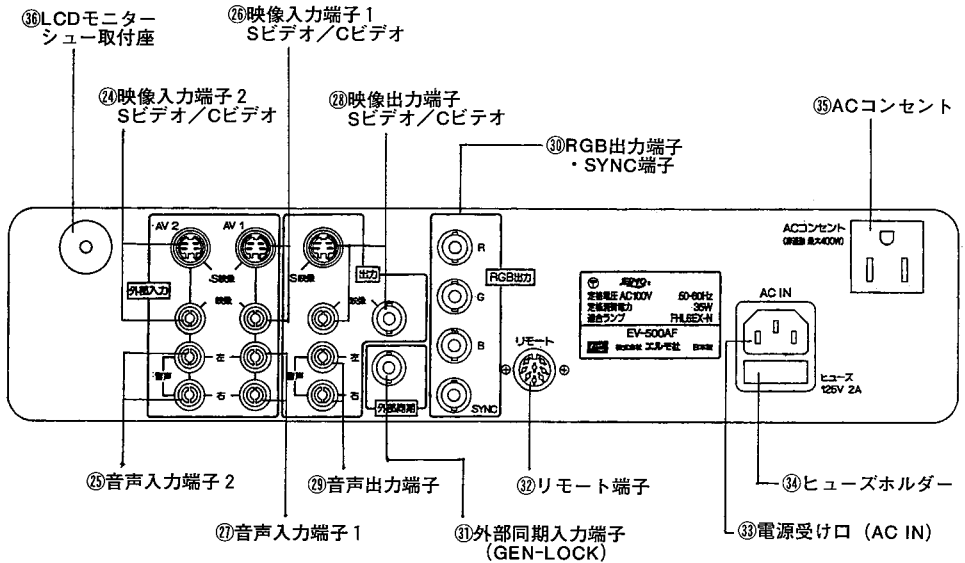


○フロント操作パネル



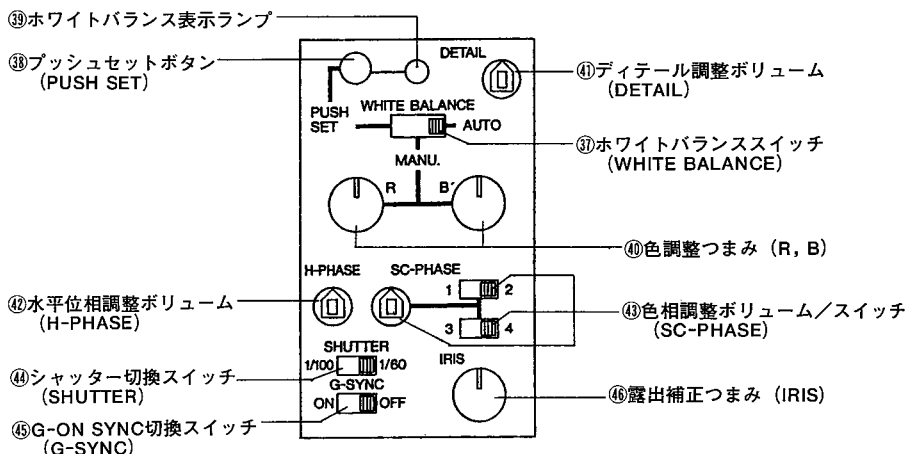
| | 名 称 | 働 き | 参考ページ |
|----|-----------------|---|-------|
| 16 | 照 明 ボ タ ン | 照明の ON/OFF に使用します。 | 11 |
| 17 | 入 力 選 択 ボ タ ン | 入力系統の切換えに使用します。 | 11 |
| 18 | ネガ/ポジ反転ボタン | ネガフィルムを提示するときに使用します。 | 12 |
| 19 | カラー/白黒切換ボタン | 文書等の白黒原稿を提示するときに使用します。 | 12 |
| 20 | ズ ー ム ボ タ ン | 映像のサイズを変えるときに使用します。 | 12 |
| 21 | ファンクションボタン | 映像のサイズを記憶させ(プリセット)、 記憶したサイズにズーム移動(ムーブ)します。 | 12 |
| 22 | フ ェ ー カ ス ボ タ ン | 電動マニュアルでピント合わせをするときに使用します。 | 13 |
| 23 | オートフォーカスボタン | ワンショットオートフォーカス方式です。 自動でピント合わせをするときに使用します。 | 13 |

○背面パネル



| 名 称 | 働 き | 参考ページ |
|--------------------------------------|---|-------|
| ②4 映像入力端子2 Sビデオ/Cビデオ (US-PIN) | 入力選択がAV2のときにこの端子からの映像が映像出力端子②8より出力されます。 | 8 |
| ②5 音声入力端子2 | 入力選択がAV2のときにこの端子からの音声が生音出力端子②9より出力されます。 | |
| ②6 映像入力端子1 Sビデオ/Cビデオ (US-PIN) | 入力選択がAV1のときにこの端子からの映像が映像出力端子②8より出力されます。 | 8 |
| ②7 音声入力端子1 | 入力選択がAV1のときにこの端子からの音声が生音出力端子②9より出力されます。 | |
| ②8 映像出力端子 Sビデオ/Cビデオ (US-PIN, BNC) | モニターテレビ等に接続します。 | 8 |
| ②9 音声出力端子 | テレビの音声入力端子等に接続します。 | |
| ③0 RGB出力端子・SYNC端子 | 入力選択に関係なく本機の映像出力のRGB信号とその同期信号を出力します。 | 8 |
| ③1 外部同期入力端子 (GEN-LOCK) | 外部同期信号を入力するときに使用します。 | 17 |
| ③2 リモート端子 | 外部制御信号入力接続用端子 | 18 |
| ③3 電源受け口 (AC IN) | 電源コードコネクタ差し込み口 | |
| ③4 ヒューズホルダー | ヒューズ 125V 2A | |
| ③5 ACコンセント | 最大400Wまで電力を供給します。非連動 | |
| ③6 LCDモニターシュー取付座 | 別売アクセサリ-LCDモニターシュー-MS-100の取り付けに使用します。 | 16 |

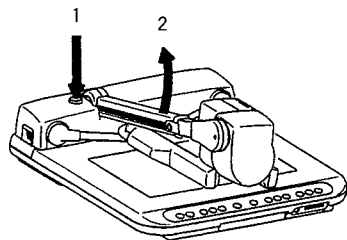
○カメラヘッド部



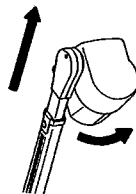
| | 名 称 | 働 き | 参考ページ |
|----|------------------------------|---|-------|
| ③⑦ | ホワイトバランススイッチ (WHITE BALANCE) | ホワイトバランスを合わせるときのモードを選択します。通常は [AUTO] の位置にしておきます。 | 14 |
| ③⑧ | プッシュセットボタン (PUSH SET) | プッシュセットのホワイトバランスに使用します。(ホワイトバランススイッチが [PUSH SET] の時に有効) | 14 |
| ③⑨ | ホワイトバランス表示ランプ | ホワイトバランスの表示ランプです。 | 14 |
| ④② | 色調整つまみ (R, B) | 手動で色調整をするときに使用します。(ホワイトバランススイッチが [MANU.] の時に有効) | 14 |
| ④① | ディテール調整ボリューム (DETAIL) | 画像の輪郭強調を調整するときに使用します。 | 15 |
| ④② | 水平位相調整ボリューム (H-PHASE) | 外部同期運転のとき水平位相の調整に使用します。 | 17 |
| ④③ | 色相調整ボリューム/スイッチ (SC-PHASE) | 外部同期運転のとき色相 (サブキャリア位相) 調整に使用します。 | 17 |
| ④④ | シャッター切換スイッチ (SHUTTER) | シャッターの時間を設定します。 | 15 |
| ④⑤ | G-ON SYNC 切換スイッチ (G-SYNC) | 同期信号入力端子のないRGB入力のモニターテレビ等を使用するときONにします。 | 8 |
| ④⑥ | 露出補正つまみ (IRIS) | 映像の明るさを調整するときに使用します。通常は中央にセットします。 | 15 |

本体のセットアップ

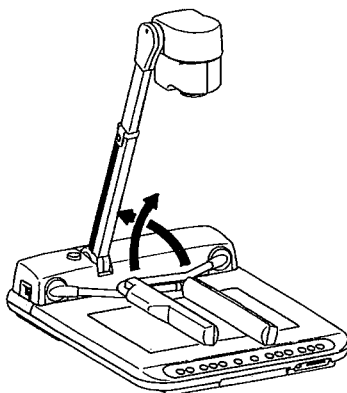
- ① 支柱ロック解除ボタン（UNLOCK）を押し支柱を起こします。
・支柱を支柱ロック解除ボタンが戻る位置まで引き起こします。このとき完全にロックがかかるまで引き起こしてください。



- ② ロックがかかるまでヘッド支柱をのばします。
- ③ カメラヘッドをステージの方へ向けます。



- ④ 資料照明アームを本体に対して止まるまで開きます。
操作は片方ずつ行ってください。
- ⑤ 電源コードをコンセントに接続します。



モニターテレビとの接続

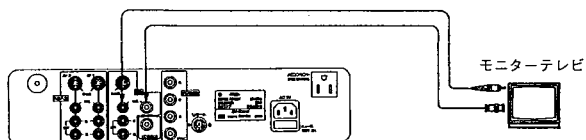
[注] 本機および接続する機器を保護するため、接続するときは必ず電源スイッチをOFFにしてください。

[注] ビデオケーブルを抜き差しするときはケーブルのプラグ部を持っておこなってください。

○コンポジットビデオ（Cビデオ）入力端子を持つ機器との接続

付属のUS-PINプラグ付きビデオ／オーディオケーブルまたは市販のBNCケーブルで接続してください。

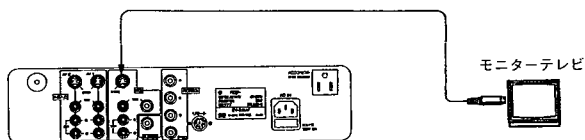
（本機US-PIN出力端子・BNC出力端子のいずれを接続しても構いません。）



○S映像（Sビデオ）入力端子を持つ機器との接続

本機S映像出力端子（ミニDIN4P）と、S映像入力端子付きモニターテレビを接続します。S映像出力をご使用の場合は市販の接続ケーブルをお求めください。

使用する機器がY/C分離のコネクタになっている場合は変換アダプターが必要となります。



○RGB入力端子を持つ機器との接続

本機RGB出力端子と、RGB入力端子を持つ機器をBNCケーブルで接続します。

BNCケーブルは市販のものをご利用ください。

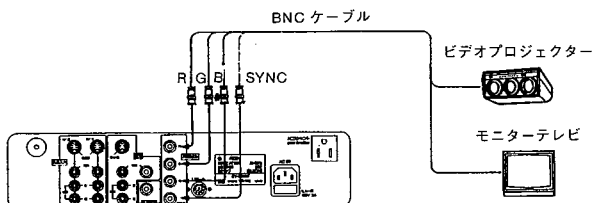
・G-ON SYNC切換スイッチについて

ON : RGBのBNC端子のうちG信号出力に同期信号が付加されます。

OFF : 通常モード、G出力に同期信号は付加されません。（出荷時設定）

・RGB出力端子について

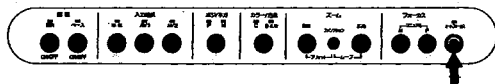
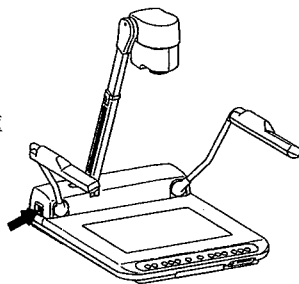
入力切換ボタンで映像をAV1、AV2に切換えても、RGB出力端子からは本機（INTERNAL）の映像のみ出力されます。



資料提示の操作手順

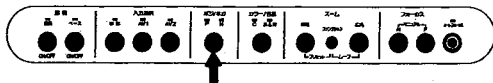
○印刷物などの資料を提示する場合の簡単な操作手順

- ①電源スイッチをONにします。
(モニターテレビとの接続は前もって行ってください。)
※フロント操作パネルの表示ランプ(緑色LED)が本機の持つ各種機能の初期設定の状態を表示します。
- ②ステージ面に被写体を置き被写体の大きさに応じてモニターテレビ画面を見ながらズームボタンで映像のサイズを調整します。
- ③オートフォーカスボタンを押しピントを合わせます。
※ピントが合う範囲はステージから約10cmの高さまでです。
(カメラ上位置)



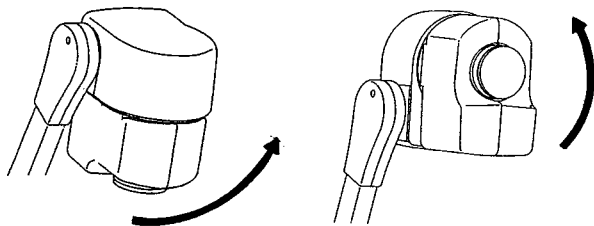
○スライドフィルムなどの透過資料を提示する場合の簡単な操作手順

- ①照明ボタン [ベース] を押します。
[ベース] の表示ランプが点滅し、ステージ内蔵のベース照明(透過照明装置)が点灯します。
- ②ネガフィルムを提示するときは、ネガ/ポジ反転ボタンを押し、[N]: ネガに切換えます。
※RGB出力は、ネガ/ポジ反転されません。
- ③ベース照明を消すときはもう一度 [ベース] ボタンを押します。



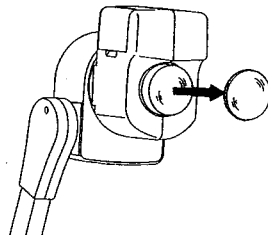
○手前側を撮影するとき

カメラヘッド部を手前に回転させ、被写体を正立させるためレンズ部を反転させます。



○カメラとして使用するとき

被写体が遠距離の時はアダプターレンズ (AC3) を取り外します。カメラヘッド部を水平位置にセットすれば、壁面・遠景等が撮影できます。

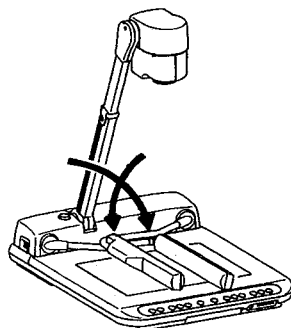


収 納

①メインスイッチをOFFにして、電源コードおよびビデオケーブルを抜きます。

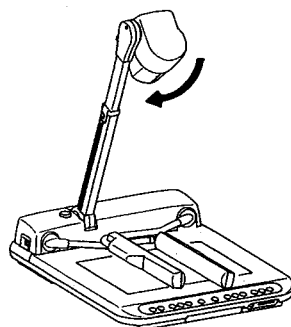
②左右の資料照明アームを畳んでください。

[注] 左右どちらから畳んでも結構ですが、必ず最初に畳んだ資料照明ランプ部は図のようにアームがステージに対して平行になる位置まで回転させてから、もう一方のアームを回転させてください。

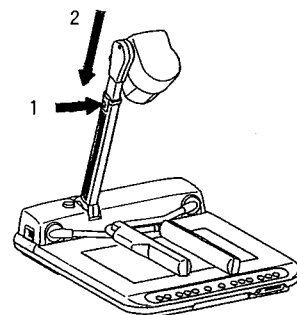


③カメラヘッド部を支柱に対して図の位置まで回転させます。

[注] カメラヘッド部は必ず図の位置にしてください。ほかの位置で収納しますと、ステージ面や、レンズをいためることがあります。

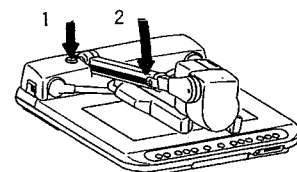


④アームロックボタンを押しヘッド支柱をいっぱいまで縮めます。



⑤支柱ロック解除ボタン (UNLOCK) を押してロックをはずし、支柱を倒します。

[注] 支柱は図の位置が所定の収納状態です。無理な力を絶対に加えないでください。



各種機能について

○照 明

印刷物などの資料を提示するための資料照明とスライドフィルムやネガフィルム等の透過資料を提示するためのベース照明が標準装備されています。

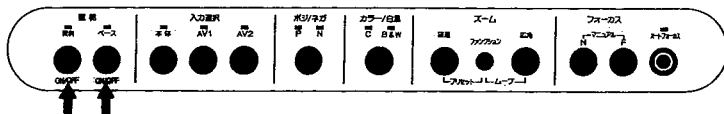
照明ボタンを押すと表示ランプが点滅し、2秒～3秒して蛍光灯が点灯します。

ランプを消す時は再度照明ボタンを押します。

提示する資料に合わせて照明ボタン[資料]または[ベース]を押して点灯してください。

※資料照明とベース照明を同時に点灯させることはできません。

特に資料照明ランプは資料面の照度が不十分な時、あるいは立体物を提示する場合にご使用いただきますと、演色性の良い鮮明な画像が得られます。

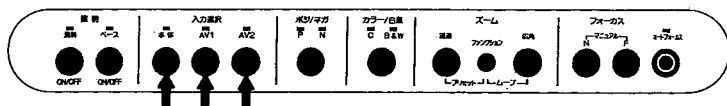


○入力選択

接続ケーブルを差し換えることなく、VTR、ビデオカメラ等のAV機器2台の映像を入力選択ボタンで簡単に切換えてモニターテレビに映し出すことができます。

入力選択では以下の切換えが可能ですが、RGB出力の切換えはできません。

また、Cビデオ入力をSビデオ出力に変換して出力するという信号変換はできません。その逆もできません。



映像、音声入出力端子切換一覧表

| 入 力 選 択 | | 出 力 | | 映 像 出 力 端 子 | | 音 声 出 力 端 子 | |
|-------------|------------------|--------|--------|-------------|-------|-------------|---|
| | | Sビデオ | Cビデオ | | チャンネル | | |
| | | | US-PIN | BNC | L | R | |
| 本 体 | 本体カメラ | Sビデオ | ○ | — | — | — | — |
| | 映像信号 | Cビデオ | — | ○ | ○ | — | — |
| | マイク | モノラル | — | — | — | ○ | ○ |
| A V 1 | 外部 | Sビデオ | ○ | — | — | — | — |
| | 映像信号 | Cビデオ | — | ○ | ○ | — | — |
| | 外部音声信号 (ステレオ) | Lチャンネル | — | — | — | ○ | — |
| | | Rチャンネル | — | — | — | — | ○ |
| A V 2 | 外部 | Sビデオ | ○ | — | — | — | — |
| | 映像信号 | Cビデオ | — | ○ | ○ | — | — |
| | 外部音声信号 (ステレオ) | Lチャンネル | — | — | — | ○ | — |
| | | Rチャンネル | — | — | — | — | ○ |

RGB出力端子には、入力選択に関係なく常に本体の映像が出力されます。

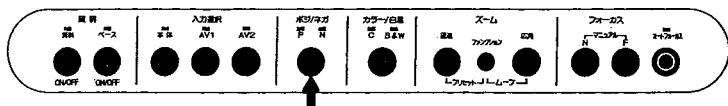
○ネガ／ポジ反転

ネガフィルムを提示するときを使用します。

ネガ／ポジボタンを押すと[N]の表示ランプが点灯し、映像が反転されます。

再度ネガ／ポジボタンを押すと表示ランプの点灯が[P]に変わり通常の状態になります。

※RGB出力は、ネガ／ポジ反転できません。



○カラー／白黒切換

文書等の白黒原稿を提示するときを使用します。

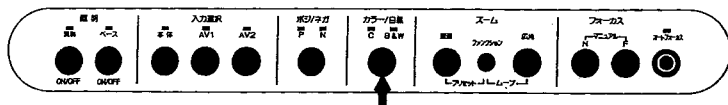
モニターテレビ上での色のにじみがない、より鮮明な画像が得られます。

通常は表示ランプがカラー[C]の点灯状態にしておきます。

カラー／白黒切換ボタンを押すと[B & W]の表示ランプが点灯し映像が白黒になります。

再度カラー／白黒切換ボタンを押すと表示ランプの点灯が[C]に変わり通常の状態になります。

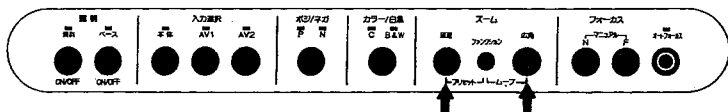
※RGB出力は、カラー／白黒切換えできません。



○ズーム

ズームボタン [望遠] を押すと映像のサイズが徐々に大きくなります。

ズームボタン [広角] を押すと映像のサイズが徐々に小さくなります。

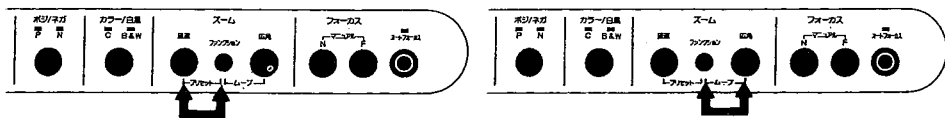


○映像サイズプリセット

ファンクションボタンとズームボタン [望遠] を同時に押すとその時の映像サイズがプリセット (記憶) されます。ズームボタンで映像サイズを変更した後、ファンクションボタンとズームボタン [広角] を同時に押すと、プリセットされていた映像サイズに自動的に戻ります (ムーブ)。

プリセット操作のたび毎にプリセット映像サイズは自動的に更新されます。

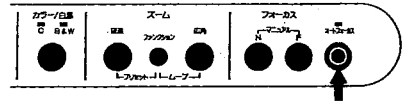
[注] 電源を切るとプリセットされた映像サイズの記憶はキャンセルされます。



○フォーカス

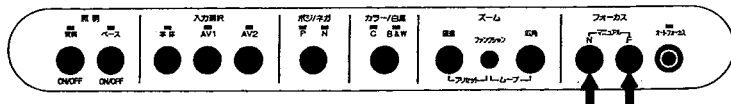
オートフォーカス

- オートフォーカスボタンを押すとオートフォーカス動作中は表示ランプが点滅し、被写体にピントが合うと点滅が終わります。
- 本機はワンショットオートフォーカス方式です。一度ピントが合うとオートフォーカス動作は解除されますので、その時のピント位置を維持します。
- ズームボタンの [望遠] を押して被写体の映像サイズを最も大きくした状態でオートフォーカスを動作させますと、より高精度となります。
- 下記のような被写体は、オートフォーカスではピントが合わない場合があります。この場合は、マニュアルフォーカスでピントを合わせてください。
 - ・明暗の差 (コントラスト) の少ない被写体
 - ・横じま、格子模様など細かい繰り返しパターンの被写体
 - ・輝いていたり強い光を反射して光っている被写体
 - ・被写体の背景が明るいとときや、明暗がはっきりしすぎているとき
 - ・画面全体が暗いとき
 - ・被写体が遠くと近くと共にあるとき
 - ・動く被写体
- オートフォーカス動作中にマニュアルフォーカスボタンを押すと、オートフォーカス動作は解除されます。



電動マニュアルフォーカス

立体資料等の任意の部分にピントを合わせる場合に、フォーカスボタン [N]、[F] を押します。
※ピントが合う範囲はカメラヘッド部が上位置のときステージから約10cmの高さまでです。



○ホワイトバランス

正しい色調の画像を得るためには、ホワイトバランスの調整が必要です。
本機のホワイトバランスは3つのモードがあります。

オートホワイトバランス

ホワイトバランススイッチを [AUTO] の位置にします。
照明等を切替えてもカメラが自動的に色温度をチェックして
ホワイトバランスを合わせます。
通常はこのモードでご使用ください。
このモードでは、ホワイトバランス表示ランプは常時点灯し
ています。

プッシュセットホワイトバランス

カメラヘッド部にあるホワイトバランススイッチを [PUSH
SET] の位置にします。

[注] ホワイトバランススイッチを [PUSH SET] の位置に
しただけではホワイトバランスはとれません。

白い被写体を写しながらプッシュセットボタンを押してくだ
さい。

ホワイトバランスがとれると、ホワイトバランス表示ランプ
が点灯します。

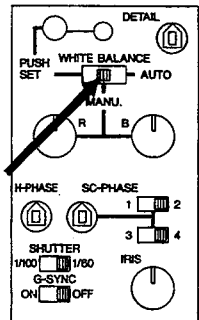
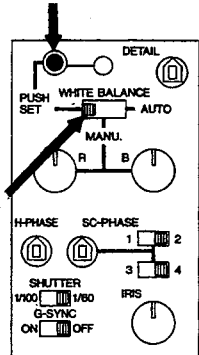
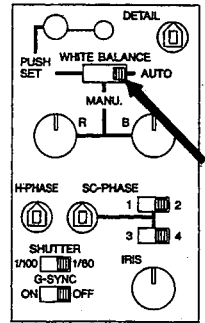
点灯しないときは、ホワイトバランスがとりきれない場合で
す。そのまま使用するか、またはマニュアルモードに変更
します。

色温度の変化に対しては自動追従しません。

[注] 電源を切/入したとき、または被写体の色温度が変化
したときは、再度ホワイトバランスを設定してくださ
い。

マニュアルホワイトバランス

ホワイトバランススイッチを [MANU.] の位置にします。
モニターテレビで確認しながら色調節つまみ[R] (赤) と
[B] (青) を調整し、ホワイトバランスを合わせます。
このモードでは、ホワイトバランス表示ランプは点灯しま
せん。

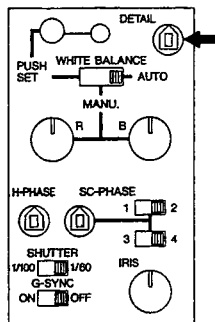


○輪郭強調機能 (ディテール調整)

画像の輪郭を強調するとき等に使用します。

ディテール調整ボリューム [DETAIL] を調整することによりモニターテレビ上の映像がソフト～ハードな感じに変化します。

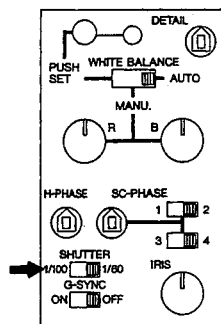
ディテールはボリューム形状に合ったドライバー等で調整してください。



○シャッター切換スイッチ

関東地方など電源が50Hzの地域では、スイッチの設定を『1/60』の表示側で使用すると蛍光灯・水銀灯など交流点灯の放電管の照明によるチラツキ (フリッカー現象) が出ることがあります。シャッター切換スイッチを『1/100』の表示側に切換えてご使用になると、チラツキを軽減できる場合があります。

関西地方などの電源が60Hzの地域ではこのスイッチは『1/60』の表示側 (出荷時設定) のままで使用してください。

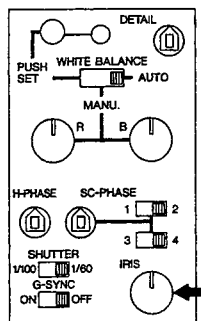


○アイリス

露出は自動的に補正されます。

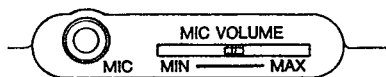
通常は露出補正つまみの中央クリック位置で使用してください。

露出補正は露出補正つまみ [IRIS] を回して調整できます。



○マイク入力

マイク端子にマイクロホンを接続すればモニターテレビのスピーカより音声を出すことができます。音声出力端子とモニターテレビの音声入力端子を接続します。マイク音量の調整はマイク音量調整つまみで調整できます。尚マイクの音声は、モノラルで音声出力端子左右どちらの端子からも出力されます。入力選択の [本体] の表示ランプが点灯しているときのみ有効です。



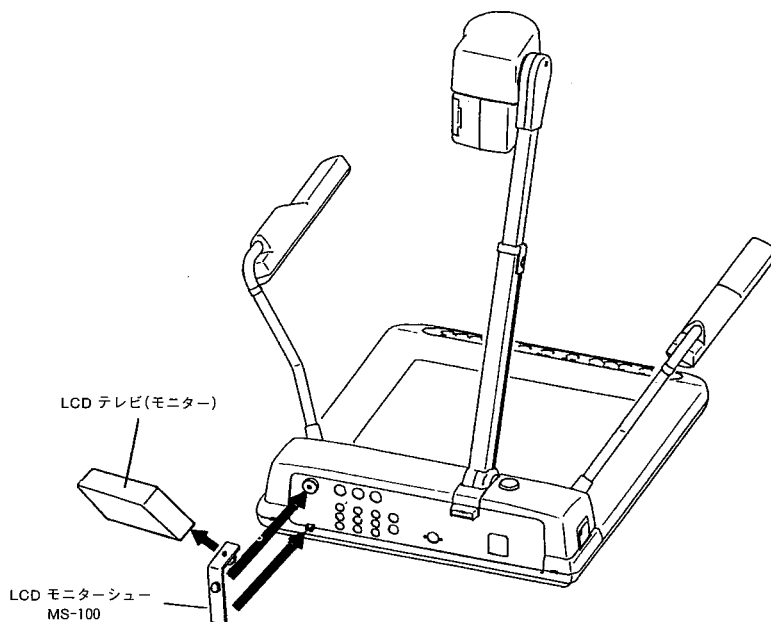
○LCDモニターシュー取付について

LCDモニターテレビを取り付けるときに、アクセサリースューを本機に取り付けるための座です。

(別売アクセサリ 【MS-100】 が必要です。)

LCDモニターテレビは三脚ネジ付きの市販品をご使用ください。

接続方法、接続コード等はお買い上げのLCDモニターテレビの取扱説明書を参照してください。



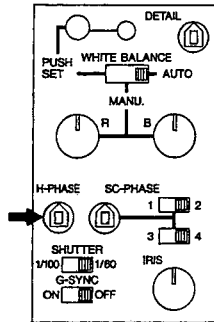
システム展開

○外部同期の調整

外部同期の調整は本資料提示装置を複数台またはビデオカメラ装置等（TRV-35G、TRV-16Gも含む）の映像をミックスして1台のモニターテレビに映し出す場合に必要となります。各資料提示装置及びビデオカメラ等の映像を揃えるためには水平同期位相調整とサブキャリア位相調整が必要となります。映像のミックス再生にはビデオミキサーが必要となります。接続方法については各種ビデオミキサーによって異なりますので、それぞれのビデオミキサーの説明書をご覧ください。

●水平同期位相調整

画像をミックスさせるとき、水平位相を合わせるために使います。ボリューム形状に合ったードライバー等で調整してください。



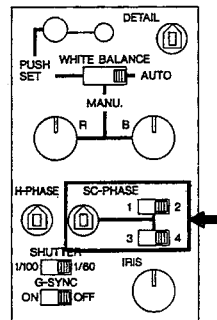
●サブキャリア位相調整

画像をミックスさせるとき、本機の映像出力信号の色調を基準信号に合わせる場合に調整をおこないます。

基準信号の色相に合うように色相調整スイッチ [SC-PHASE] を切換え映像色調が最も近い状態にします。さらに色相調整ボリュームで微調整します。

ボリューム形状に合ったードライバー等で調整してください。

| SC-phase | 0° | 180° | 270° | 90° |
|------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| Switch positions | 1 [] 2 | 1 [] 2 | 1 [] 2 | 1 [] 2 |
| | 3 [] 4 | 3 [] 4 | 3 [] 4 | 3 [] 4 |

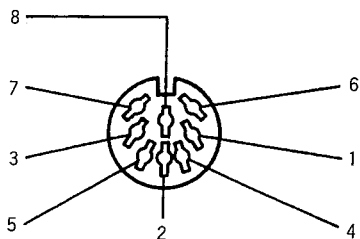


○リモート端子について

外部制御信号入力用の端子です。

リモート受口はDIN8Pコネクタです。(DINスタンダードNo.45326)

コンタクトは下記の配列になっておりコンタクト間を短絡することにより以下の各種機能が得られます。



コンタクト間の各機能

| コンタクト | 機能 |
|---------------|---|
| 1 - 8 | フォーカス FAR側へ動作 |
| 2 - 8 | NEAR側へ動作 |
| 3 - 8 | ズーム 広角側へ動作 |
| 4 - 8 | 望遠側へ動作 |
| 6 - 8 | オートフォーカス 作動 |
| 7 - 8 / 1 - 8 | ファンクションキー作用 (7 - 8 先押し) ベース照明 ON/OFF |
| 7 - 8 / 2 - 8 | 資料照明 ON/OFF |
| 7 - 8 / 3 - 8 | ムーブ |
| 7 - 8 / 4 - 8 | プリセット |
| 7 - 8 / 6 - 8 | 入力選択 順次切換え [本体→AV1→AV2] |

5 未使用 (OPEN)

8 COMMON

照明ランプ（蛍光ランプ）について

照明ランプは（蛍光ランプ）は消耗品ですので、チラツキだしたり暗くなったときは取り換えてください。

〔注〕 ランプの交換はお買い上げの販売店か最寄りの弊社支店、営業所までご相談ください。

故障かな？と思ったら

| 現象 | この点を確認してください |
|--------------------|--|
| 映像が出ない | <ul style="list-style-type: none"> ・正しくビデオケーブルが接続されていますか。 ・電源プラグが壁側コンセントからはずれていませんか。 ・電源コードが本機の電源受け口からはずれていませんか。 ・電源スイッチが入っていますか。 ・ズームが望遠になっていて映している資料の白い部分だけを見ていませんか。 |
| 画面のピントが合わない | <ul style="list-style-type: none"> ・原稿（被写体）がレンズに近すぎステージ面から10cm以上の高さになっていませんか。またレンズヘッド位置が下側の位置では、立体物にピントが合いません。 ・広角（ワイド側）でピントを合わせたのち、ズームを望遠側にしていませんか。ピントは望遠最大の所で合わせてください。 ・オートフォーカスの場合、ピントが合わせにくい場合があります。（P13参照） |
| 照明ボタンを押してもすぐに点灯しない | ランプ保護のため、約2秒間予熱をした後点灯させています。故障ではありません。 |
| 映像が暗すぎる | <ul style="list-style-type: none"> ・露出補正つまみ（IRIS）が左回り（クローズ）側になっていませんか。 ・照明が不足していませんか。資料照明ボタンを押してランプを点灯してください。 |
| 入力切換ができない | Sビデオの入力に対してCビデオ出力をモニター接続していませんか。（あるいはその逆の接続をしていませんか。P11の切換一覧表を参照してください） |
| 印刷物の映像に縞模様が出る | 印刷物の網点とテレビの走査線の干渉縞ではありませんか。[DETAIL] のボリュームを反時計方向に少し回して下さい。（P15参照） |
| 画面にフリッカが出る | 50Hzで点灯している放電管の光が画面に入っていませんか。シャッターを[1/100]側にすると軽減される場合があります。（P15参照） |

以上のことをお調べの上、なお異常があるときは、お買い上げのお店か最寄りの弊社営業所にご相談ください。

仕 様

<総合仕様>

| | |
|---------|---|
| 電源 | AC100V 50Hz/60Hz |
| 消費電力 | 35W |
| ACコンセント | 1個 (最大400Wまで/非連動) |
| 外形寸法 | 幅: 690mm 奥行: 545mm 高さ: 653mm (セットアップ時・カメラ上位置) 幅: 450mm 奥行: 545mm 高さ: 203mm (収納時) |
| 質量 | 8.5kg (本体のみ) |

<光学部仕様>

| | |
|----------|--|
| 投影レンズ | F1.8~2.3, f=8.0mm~80mm |
| 撮影領域 | 最大 横:345mm 縦:255mm (カメラ上位置・広角・Scan100%時) (ステージ上) 最小 横: 28mm 縦: 21mm (カメラ下位置・望遠) |
| 焦点調節可能範囲 | ステージ面~ステージ面100mm (カメラ上位置・下向き・AC3付) ∞~1.3m (カメラ横向き・AC3無し) |
| ズーム | 電動 |
| フォーカス | オート/電動/手動 |
| アイリス | 自動 (マニュアル微調整付) |

<照明装置>

| | |
|-------|------------------------------------|
| 資料照明 | 高周波点灯方式、3波長蛍光ランプ 6W (型名:FHL6EX-N) |
| ベース照明 | 高周波点灯方式、3波長蛍光ランプ エリアサイズ296mm×216mm |

<ビデオ部仕様>

| | |
|---------|--|
| TV方式 | NTSC方式準拠 |
| 撮像素子 | インターライン転送 1/2インチCCD |
| 総画素数 | 水平811、垂直508……41万画素 |
| 同期方式 | 内部/外部 (自動切替) |
| 解像度 | 水平450TV本以上 (Y信号計測) 垂直350TV本以上 |
| S/N | 46dB以上 (ディテール調整最小時) |
| 映像出力レベル | Cビデオ VBS 1.0 V(ピーク ピーク)/75Ω 不平衡 Sビデオ Y 0.714 V(ピーク ピーク)/75Ω 不平衡 C 0.286 V(ピーク ピーク)/75Ω 不平衡 R/G/B 0.714 V(ピーク ピーク)/75Ω 不平衡 G-ON SYNC 0.286 V(ピーク ピーク)/75Ω 不平衡 (切替可能) SYNC 2.5 V(ピーク ピーク)/75Ω 不平衡 |

| | |
|------------|--|
| 外部同期入力条件 | Cビデオ VBS (75Ω不平衡) SYNC部：0.3V±0.1V、バースト部：0.3V±0.1V |
| 外部同期引込範囲 | NTSC標準周波数に対し H ±20ppm SC ±50ppm |
| 水平同期位相調整 | マニュアル調整可能 (調整範囲0μs~10μs) |
| サブキャリア位相調整 | マニュアル調整可能 (調整範囲0°~360°) |
| 電子シャッター | 1/60s、1/100s |
| ホワイトバランス | フルオート/プッシュセット/マニュアル |
| ネガ/ポジ反転 | 可能 (Cビデオ、Sビデオ) |
| カラー/白黒切替 | 可能 (Cビデオ、Sビデオ) |
| ディテール調整 | 可能 |
| 入力選択 | 3系統 (本体/AV1/AV2) |
| 入力端子 | Sビデオ入力 (ミニDIN 4Pコネクタ/75Ω不平衡) × 2 Cビデオ入力 (US PIN/75Ω不平衡) × 2 外部同期入力 (BNCコネクタ/75Ω不平衡) × 1 マイク (モノラル) 入力 (径6.3mmジャック/適合インピーダンス600Ω、 -65dB) × 1 ステレオ音声入力 (US PIN/適合インピーダンス10kΩ以上、-10dB) × 2組 Sビデオ出力 (ミニDIN 4Pコネクタ/75Ω不平衡) × 1 Cビデオ出力 (US PIN/75Ω不平衡) × 1 (BNCコネクタ/75Ω不平衡) × 1 RGB出力 (BNCコネクタ/75Ω不平衡) × 1組 SYNC出力 (BNCコネクタ/75Ω不平衡) × 1 ステレオ音声出力 (US PIN/適合インピーダンス10kΩ以上、-10dB) × 1組 |
| <環境条件> | |
| 温度 | +5℃~+40℃ |
| 湿度 | 30%~85% (ただし結露のないこと) |
| <付属品> | |
| | アダプターレンズ (AC3) …… 1 (組み込み済) |
| | 電源コード…… 1 |
| | ビデオ/オーディオケーブル…… 1 |
| | 取扱説明書…… 1 |
| | 保証書…… 1 |

*仕様は予告なしに変更することがありますが、ご了承ください。

[注] US PIN は EIAJ RC-6703準拠のピンプラグを使用してください。

ご 注 意

スライド・書籍・写真等は個人で楽しむほかは、著作権
法上、権利者に無断で録画できませんのでご注意ください。

EIMO 株式会社 エルモ社

製品についてのお問い合わせは、最寄りの弊社営業所へ

| | | |
|-------------|---------------------------------------|--------------------|
| 本 社 | 〒467 名古屋市瑞穂区明前町 6 番 14 号 | TEL (052) 811-5131 |
| 東 京 本 部 | 〒108 東京都港区三田 3 丁目 7 番 16 号 | TEL (03) 3453-6928 |
| 東 京 営 業 所 | 〒108 東京都港区三田 3 丁目 7 番 16 号 | TEL (03) 3453-6471 |
| 横 浜 営 業 所 | 〒240 横浜市保土ヶ谷区岩井町11番 ダイアナプラザ保土ヶ谷4階411室 | TEL (045) 333-9142 |
| 大 阪 営 業 所 | 〒540 大阪府中央区東高麗橋 2 番 4 号 | TEL (06) 942-3221 |
| 名 古 屋 営 業 所 | 〒467 名古屋市瑞穂区明前町 6 番 14 号 | TEL (052) 824-1571 |
| 九 州 営 業 所 | 〒812 福岡市博多区下川端町 10 番 10 号 | TEL (092) 281-4131 |
| 北 海 道 営 業 所 | 〒001 札幌市北区北 12 条西 2 丁目 4 番地 | TEL (011) 717-7221 |
| 仙 台 営 業 所 | 〒980 仙台市中央 4 丁目10番14号 エノセーフビル1階 | TEL (022) 266-3255 |
| 広 島 営 業 所 | 〒730 広島市中区中町 8 番12号 広島グリーンビル5階 | TEL (082) 248-4800 |

6X1VIN001